

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

地域包括ケアシステムを支える人々

103



集配部門

諏訪市内には10の郵便局と一つの簡易郵便局があり、地域に密着したサービスを通じて、皆さまの暮らしを支えています。郵便局では、地域の皆さまが安心して暮らし続けられるよう、日々の業務を通じた「見守り活動」に取り組んでいます。医療や介護が必要な方を含め、日常の小さな変化に気づき、支え合うことを大切にしています。

配達を担う集配部門では、毎日地域を巡りながら住民の皆さまの様子に気を配っています。これまでに、徘徊されている高齢の方を発見し、関係機関へ通報のうえ対応につなげ、その後ご家族へ無事に引き渡した事例がありました。また、夏の配達中に熱中症で体調を崩された方を発見し、救急搬送

南信北部地区 総務担当副統括局長
湖南郵便局長

たか やま ひろし
高山 宏

地域と共に

諏訪市内の郵便局の見守り活動と
安心・安全への取り組み



窓口部門

につなげたケースもあります。さらに、道路の損傷や不法投棄を見つけた際には市役所へ連絡するなど、地域の安全な生活環境の維持

にも協力しています。

窓口部門では、ご来局いただくお客さまとの対話を何より大切にしています。近年増加している特殊詐欺は、特に高齢の方が被害に遭いやすく、郵便局でも重大な課題と捉えています。不審な振込や多額の現金の引き出しに関するご相談があった場合には、理由や状況を丁寧に伺い、必要に応じて警察とも連携し、被害の未然防止に努めています。未然に防げた事実もあり、お客さまから「声を

かけてもらって助かった」とのお言葉をいただくこともあります。

また、窓口対応の中で認知症が疑われる場合には、職員が「認知症サポーター養成講座」で学んだ知識を活かし、お客さまの立場に寄り添った、ゆとりある対応を心がけています。同講座は、諏訪市社会福祉協議会およびライフドアすわにご協力いただき実施しており、継続して受講することで、認知症への理解と対応力の向上を図っています。

郵便局は、地域の方々の暮らしに最も身近な公共インフラの一つです。これからも、諏訪市、諏訪市社会福祉協議会、ライフドアすわと連携しながら、「地域包括ケアシステムを支える一員」として、地域の皆さまにとって安心・安全な存在であり続けられるよう努めてまいります。

次回は9月13日掲載予定